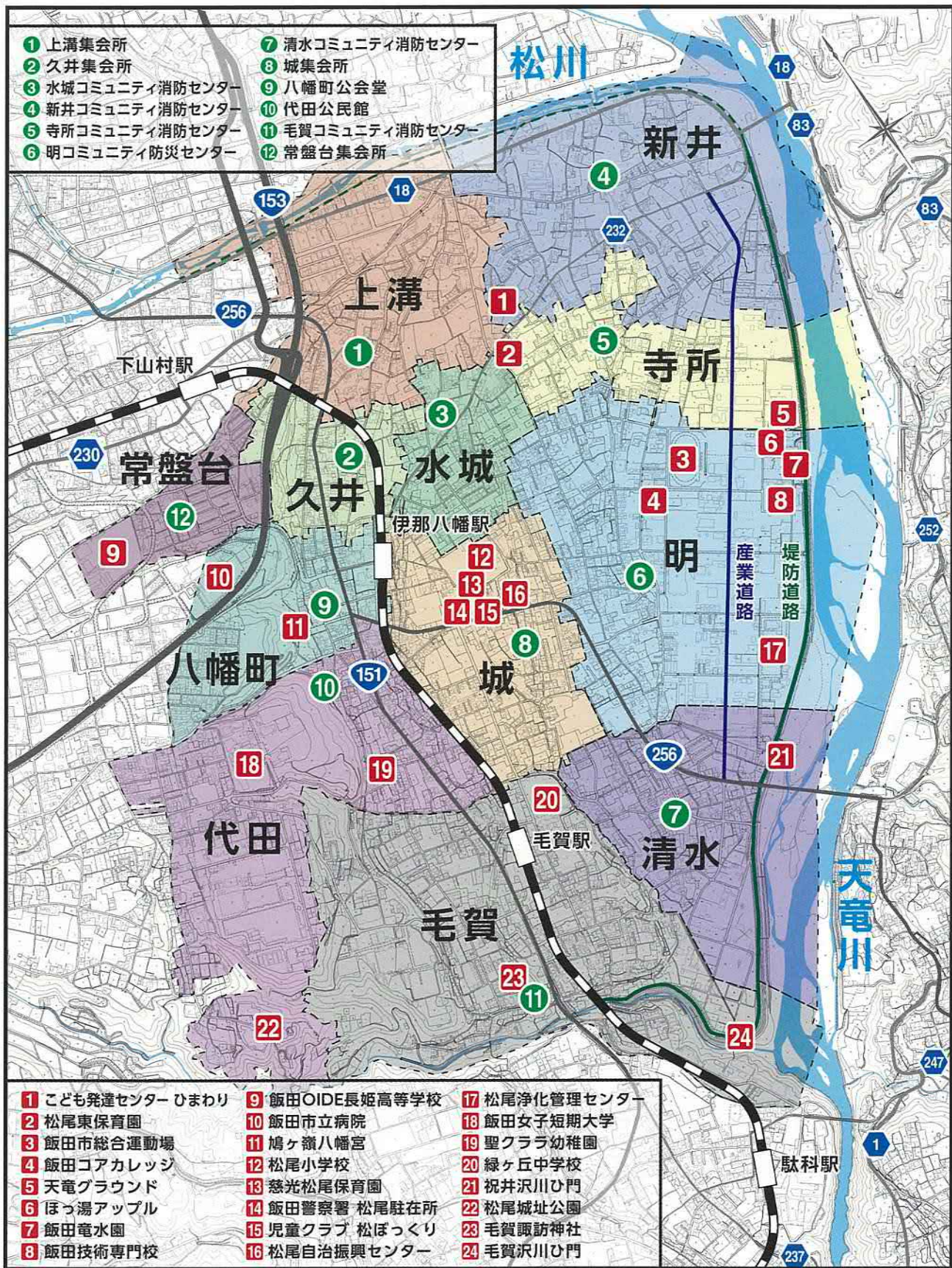


わたしたちの松尾



松尾地区まちづくり委員会

〒395-0825 飯田市松尾城4012番地1 TEL.22-0091 FAX.23-7830



このパンフレットは、ムトス飯田助成事業を活用し、作成しました。



第3次 松尾地区基本構想

やらまいか松尾

令和2(2020)年度～令和11(2029)年度



松尾地区基本構想は平成14年12月に策定された第2次の計画期間が20年と長期にわたるものであり、大きな時代の変化の中で現状にそぐわない内容も出てきていたために今回改定作業を行うこととなりました。

平成29年6月に打ち合わせ会を開催し、その後住民の皆さまからアンケートを取らせていただき、現在の松尾地区の分析を行いつつ、特別委員会を立ち上げて会合を重ねてまいりました。平成30年度においてはさらに詳細な検討を深めるために分野ごとに5つの分科会を立ち上げ、真剣に議論を深めていただくことができました。こうした皆さまのご尽力により、ここに「第3次松尾地区基本構想 やらまいか松尾」が完成しました。

今日に至るまで計画策定に携わった委員の皆さんに感謝申し上げるとともに、松尾地区の更なる発展と、リニア中央新幹線、三遠南信自動車の開通に大きな期待をしております。

松尾地区まちづくり委員会 会長
宮澤 直人



この度、第3次松尾地区基本構想やらまいか松尾を策定いたしました。第2次基本構想の平成14年以來の策定となりました。

リニアや三遠南信自動車道の開通を目前に、グローバル化やスーパーメガリージョンへのうねりの中で私たちの地域は大きく変貌しようとしています。AIなどのテクノロジーの進展、急速な社会構造や教育環境の変化、様々な価値観にあふれる社会の中で、松尾地区はもっと人と人とのつながりを大切にしたいコミュニティである必要があります。

今回の基本構想策定にあたり各地区の役員、組長さん方にご協力いただいたアンケート結果を反映させていただきました。基本構想に掲載しきれない計画や具体的な取り組みもたくさんいただいており、検討致しておりますので、松尾地区すべての方が一緒になって取り組んでいただければと思います。

最後になりましたが基本構想特別委員の方々をはじめ策定にご協力いただいたすべての皆様のご協力に感謝申し上げます。今後この計画実現により松尾地区のより一層の発展をご期待申し上げます。

松尾地区まちづくり委員会 基本構想特別委員長
中山 明

松尾地区まちづくり委員会

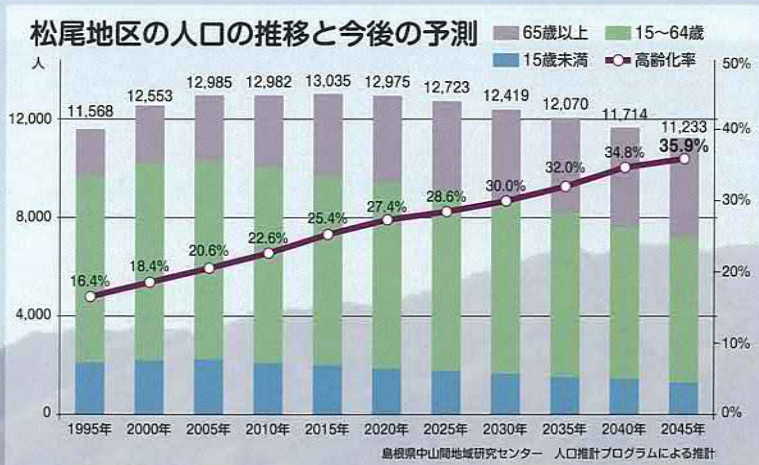
データで見る

松尾地区の現状

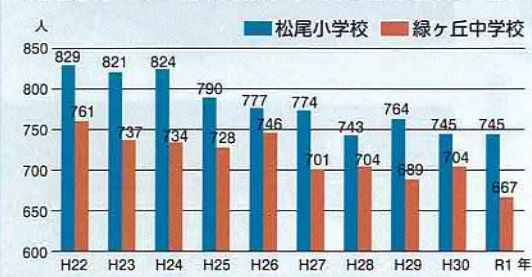
Point 1 リニア時代の到来! ~住み続けたい松尾に~

飯田市で一番若い松尾!

しかし、このままでは人口減少と高齢化は進んでいきます



松尾小学校と緑ヶ丘中学校の生徒数の推移



松尾地区は市内で一番高齢化率が低く、若い方が多く暮らしている地域です。しかしながら、将来的には子どもが減り、お年寄りが増えていくことが予想されています。リニア時代が目前に迫り、自然や地域とのふれあいを大切にする価値観が再評価されつつある現在、生活の場を地方に求める方々が松尾に住みたいと感じられるような地域づくりが求められています。

Point 2 世帯は増加

一方で組合加入率は減少...



松尾地区内のアパートや一軒家が増えており、世帯数は増えてきていますが、組合加入率は減少しています。核家族化が進行する中、地域のつながりの仕組みを見直し、様々な意見に耳を傾けられるまちづくりを進めていくことが必要です。

Point 3 外国籍の方の増加

多様化する価値観



松尾地区は市街地に近かったり公営住宅があったりで、外国籍の方が多く住まれており年を追うごとに増加してきています。リニア時代に向け、小さな世界都市を目指す飯田市の要の地区として、私たちは外国籍の方との共生の道を模索し、開かれた地区にしていかなければなりません。

Point 4 人口は自然減の時代に 他地区からの転出入は年による波が

年	自然増減		増減	社会増減		増減	自然増減と社会増減の差
	松尾地区の年間出生数	松尾地区の年間死亡数		松尾地区への転入人数	松尾地区からの転出人数		
H21	152	▲115	37	706	▲841	▲135	▲98
H22	150	▲116	34	675	▲732	▲57	▲23
H23	126	▲120	6	722	▲720	2	8
H24	146	▲119	27	701	▲724	▲23	4
H25	139	▲122	17	781	▲706	75	92
H26	129	▲106	23	790	▲771	19	42
H27	136	▲113	23	720	▲733	▲13	10
H28	123	▲111	12	740	▲710	30	42
H29	140	▲129	11	671	▲719	▲48	▲37
H30	121	▲155	▲34	765	▲698	67	33
R1	120	▲158	▲38	783	▲733	50	12

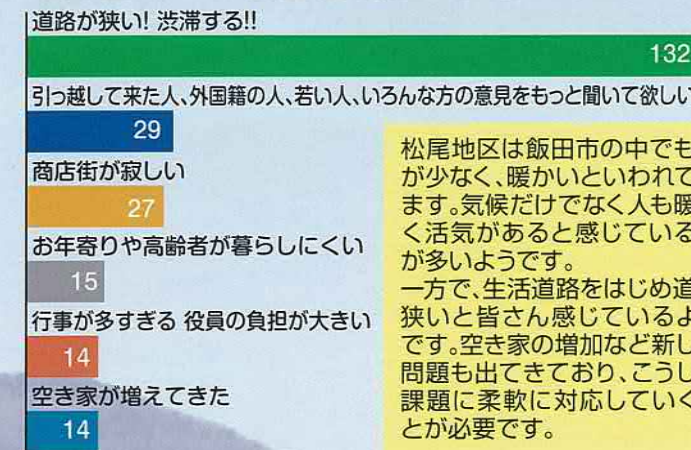
出生数の減少傾向は続いていきます。これにより出生数と死亡数を比較した自然増減はいよいよ減少へと転じてきました。松尾地区に住まいを構えたりアパートに暮らす方々の転出入による社会増減は年による波があります。松尾地区の人口増減の特性を検証し、未来にわたり発展していく松尾を考えていきましょう。

と未来へのヒント

Point 5 松尾の人が見た松尾のいいところ



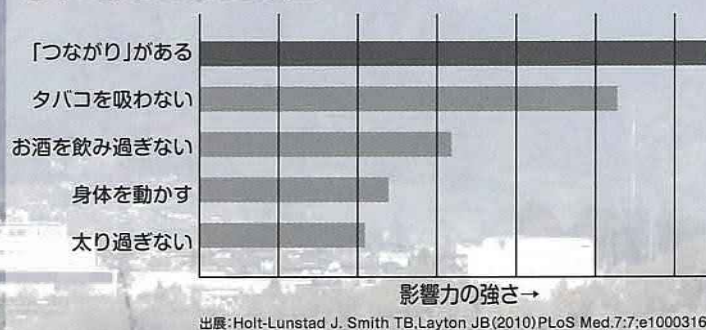
考えていく必要があること



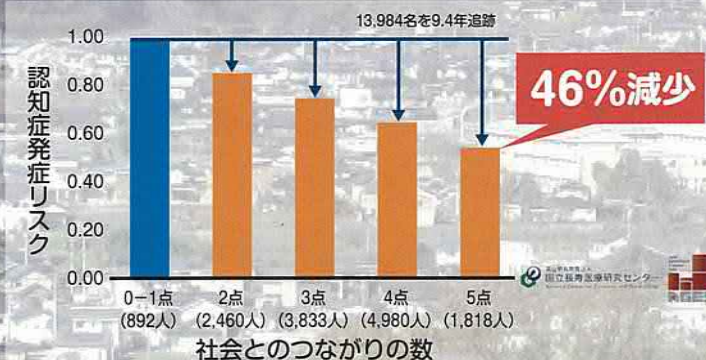
松尾地区は飯田市の中でも雪が少なく、暖かいといわれています。気候だけでなく人も暖かく活気があると感じている方が多いようです。一方で、生活道路をはじめ道が狭いと皆さん感じているようです。空き家の増加など新しい問題も出てきており、こうした課題に柔軟に対応していくことが必要です。

Point 6 地域とのつながりとスポーツが、健康で長寿の松尾をつくる!

寿命に影響を与える要因 148の研究(約30万人)を統合したメタアナリシスの結果



社会との多様なつながりがある人は認知症発症リスクが半減

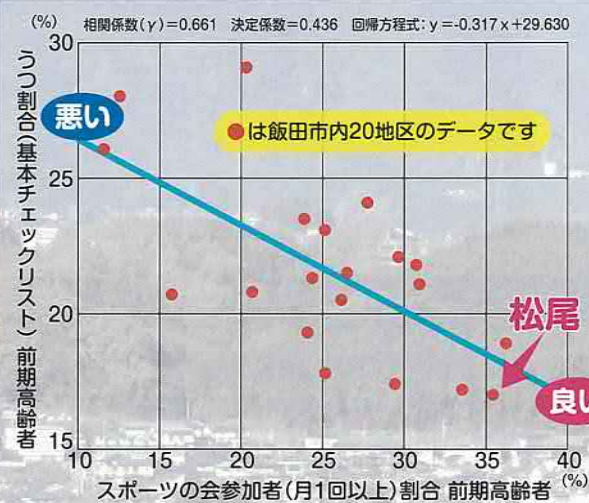


次の項目を各1点として、その合計点で認知症発症リスクを比較検討

- 配偶者がいる
- 地域のグループ活動に参加
- 同居家族間の支援
- 就労している
- 友人との交流

出展: JAGESプレスリリースN0:127-17-20

スポーツサークルに参加すると心が健康でいられる!



飯田市が実施した健康と暮らしの調査において松尾地区は閉じこもりがち高齢者が比較的多いとの結果が出ています。また、食事を一人でとる(孤食者)割合も比較的高いことが分かりました。別の調査では、地域との「つながり」が長寿の秘訣であり、スポーツサークルに参加すると心の健康につながるという調査結果も出ています。

集

コミュニティ、まちづくり分野

あなたと一緒に
つくる
私たちのまち



活

交通、産業、観光
分野

安全でゆとりある生活空間の創出
鳩ヶ嶺八幡宮や天竜川を
活かした新たな交流の促進



やらまいか松尾

重点プログラム	10年後の目標
<p>私たち一人ひとりが取り組むこと</p> <p>松尾への地域愛の醸成</p>	<p>松尾に心を寄せ、盛り上げてくれる関係人口を増やします。</p> <p>地区民が松尾の魅力を学び、語らうことが出来るようになります。</p>
<p>組合や区の単位で取り組むこと</p> <p>多様な価値観が共存する、新時代の地域コミュニティの創造</p>	<p>誰もが積極的に参加できる組合を目指します。</p> <p>積極的に地域活動に関わる人を増やします。</p>
<p>松尾地区全体で取り組むこと</p> <p>住んで良かったな、と思えるまちへの進化</p>	<p>地域全体が家族のような存在となることを目指します。</p> <p>地域内の様々な団体が協力し合っ、ともに住みやすいまちづくりに取り組みます。</p> <p>リニア開通を見据え、外国籍の方と共生し国際交流ができるまちを目指します。</p>

具体的な取り組み例

- ホームページやSNSなどを活用し、松尾の情報を発信します。
- ふるさと納税の寄附者を増やします。
- 生活道路に親しみの持てる名前をつけます。
- まちづくり委員会の組織のあり方を見直します。
- 組合のあり方を検討し、加入の促進を図ります。
- 組合未加入者も含めて、住みやすいまちづくりを進めます。
- お祭りや運動会などの地区イベントの魅力を向上させ、参加したくなるようにします。
- あいさつから繋がっていくまちにします。
- 外国籍の方との交流を地域全体で取り組みます。



重点プログラム	10年後の目標
リニア時代に向けた伊那谷の交通ネットワーク体系における地区内道路網の整備	基幹道路の整備を進め、リニア駅や三遠南信自動車道へ円滑にアクセスできるようにします。
通学路、生活道路の安全の確保	通学路や生活道路の整備を進め、まちの安全を確保します。
高齢者にやさしい移動方法の確立	JR飯田線、公共バス、乗合タクシーなど公共的な移動手段が発達し、移動に困らないまちを目指します。
地域資源を活用した心ゆさぶる観光の推進	観光等で訪れる方々に喜ばれる“おもてなし”のまちを目指します。 歴史・風習・食などの地域資源を活用し、こころ高まる体験・交流型観光を創出します。
工業、地場産業の活性化	地元の商工業者と連携し、地域産業の活性化でまちの元気を創出します。

具体的な取り組み例

- 国道151号線・256号線・産業道路など地区内のみならず、伊那谷全体の交通ネットワークの基軸となる路線の整備を進めるため、周辺地区や自治体と連携し関係機関へ整備促進を働きかけます。
- 主に高齢者の外出や買い物の機会の確保を目的として、乗合タクシー等の利用促進に取り組みます。
- 鳩ヶ嶺八幡宮・飯田古墳群・天竜川などの地域資源を活用し、グローバルな視点で観光客や交流人口の増加につながる取り組みを進めます。
- 神前結婚式・御朱印ブーム・地場産業と連携するなど、工夫して観光客の増加を図ります。
- 魅力的な松尾を体験出来るプログラムを作ります。



笑顔あふれるまち

ま
と
ま
り
つ
な
が
り
お
も
い
や
り

住

住環境、自然、
ゴミ、安心、安全、
防犯、災害分野

豊かな自然と共存し
きれいで住みやすいまち



重点プログラム	10年後の目標
積極的な空き家の活用	地区内の空き家を積極的に活用し、元気あるまちを目指します。
ふるさとの川や里山について「学び」「守り」「親しむ」	豊かな自然に関心を持ち、その魅力を地区内外に発信します。先人に学びながら、自然・伝統を受け継ぎ、その保全に努めます。
住民一人ひとりがゴミの分別・減量化の意識を持ち、きれいなまち	ゴミの立ち当番がいないまちにします。
歩行者に配慮し、交通事故のない安心して暮らせるまち	交通事故のないまちを目指します。
ご近所同士のコミュニティを大切に、犯罪が起きないまち	犯罪のないまちを目指します。
防災意識を高め、住民一人ひとりが助け合えるまち	治山治水事業を推進し、災害に強いまちを作ります。防災・減災に対する意識と知識を持ち、地区民全員の命を守るまちにします。

具体的な取り組み例

- 空き家情報について、飯田市の取り組みと連携し、管理・発信することで空き家の活用を進めます。
- 空き家の活用を支援する人材「空き家活用コーディネーター」を設置します。
- 地域の自然や歴史を学ぶ学習会を開催します。
- ゴミの集積所の設置場所の見直しを行うとともに、集積所が適正に管理されるように「ゴミステーション」の設置を進めます。
- ゴミの減量化を進めます。
- 地区内の危険箇所やゾーン30の周知を図ります。
- こどもの見守り活動を進め、こどもを守る安心の家の登録と周知を進めます。
- ハザードマップの周知を進め、災害についての理解を深めます。
- 消防団や日赤奉仕団の活動を充実させます。
- 天竜川水系を軸とした地区内の総合的な水害対策が進むよう関係機関に働きかけます。
- 地区民全員の命を守るための防災訓練を行います。



健

医療、健康、
福祉、スポーツ、
子育て分野

人と人がつながり
心身ともに健康な
あたたかいまち



重点プログラム	10年後の目標
いつまでもいきいきと暮らせる健康なまち	健康寿命 [※] の延伸を目指します。 ※健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のこと。
地域で子育てや介護を支えあう福祉のまち	地域活動や公民館活動に参加する高齢者の数を増やします。幼児から高齢者まで幅広い世代が気軽に集える場所や組織をつくりまします。
こどもが自然の中で自由に遊べる場所づくり	地区内の森や川などの自然の中で、自由に遊べる場所をつくり、体験を通して子どもたちの人間力を育みます。
食文化の継承と創造	伝統料理を未来へ継承し、また新しい食文化を創造します。
子どもから高齢者まで「スポーツあふれるまち」の構築	多くの地区民がスポーツ施設を活用し、スポーツあふれるまちにします。誰でも気軽にできるウォーキングで健康なまちをつくりまします。地区内のスポーツ施設を活用してヘルスツーリズムを推進します。

具体的な取り組み例

- 特定健診の受診率を向上させるために地区の皆さんへの声かけ運動を行い、受診しやすい環境整備を進めます。
- 健康の取り組みについて地域の皆さんの理解を深めるために小冊子を作成し、小さなグループの活動を数多く展開します。
- 各地区の集会所や空き家を活用し、高齢者がこどもたちに体験活動を提供したり、ワークショップを開催したりするなど幅広い世代が自由に集える場所(農業体験、カフェ、駄菓子屋、子育てサークル、自習スペース、サードプレイス、趣味の教室など)をつくりまします。
- 地域のことをよく知っている方々が、人や場所などを結び付ける役割を担い、地域活動が活性化するように取り組みまします。
- ほっ湯アップルを多くの皆さんが集う拠点とし、様々な講座や教室を開催します。
- 地区内の自然環境を活かして、水遊びやキャンプなどのアウトドア体験を子どもたちに提供します。
- 松尾を代表する食や料理を未来へ継承する活動を進め、また地元産の野菜やゆかりのある食材で新しい料理のアイデア(B級グルメなど)を募集するなどし、地区内外へその情報発信をしていきます。
- 地区民に無料でグラウンドを開放するなど、スポーツに触れる機会をつくりまします。
- スポーツパークIIDA構想を推進し、スポーツを通してコミュニケーションを図り、健康を増進させまします。

